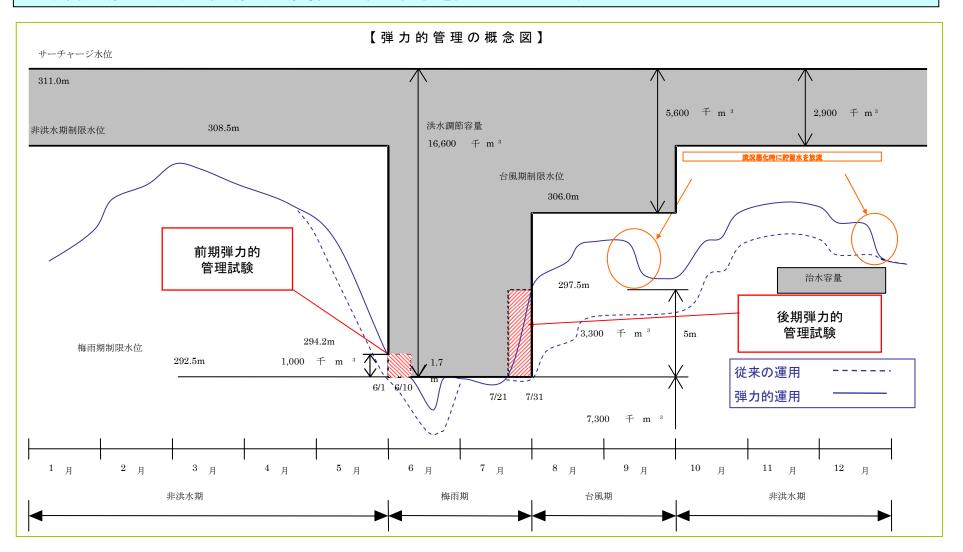
日向神ダムの弾力的管理試験

■ダムの弾力的管理試験は、洪水調節に支障を及ぼさない範囲で、洪水調節容量の一部に流水を貯留し、これを適切に放流することにより、ダム下流の河川環境の保全、改善を図ることを目的に実施しており、日向神ダムでは平成13年度後期より年2回(前期と後期)弾力的管理試験を実施しています。



■貯留された流水の放流にあたっては、福岡県矢部川流量安定化対策会議(会長:福岡県副知事)において検討し、関係機関と協議の上で放流を実施。

【貯留水放流の流れ】

流水環境の悪化

地域の要請等

福岡県矢部川 流量安定化対策会議 「関係機関と放流期間」 および放流量を調整

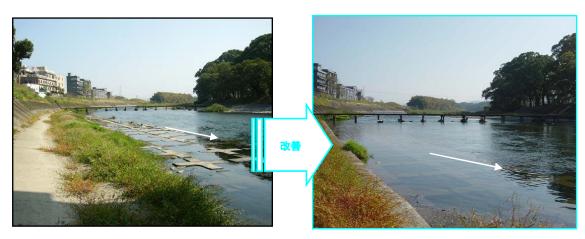
状況を見つつ放流を実施

【放流中の現地調査状況】





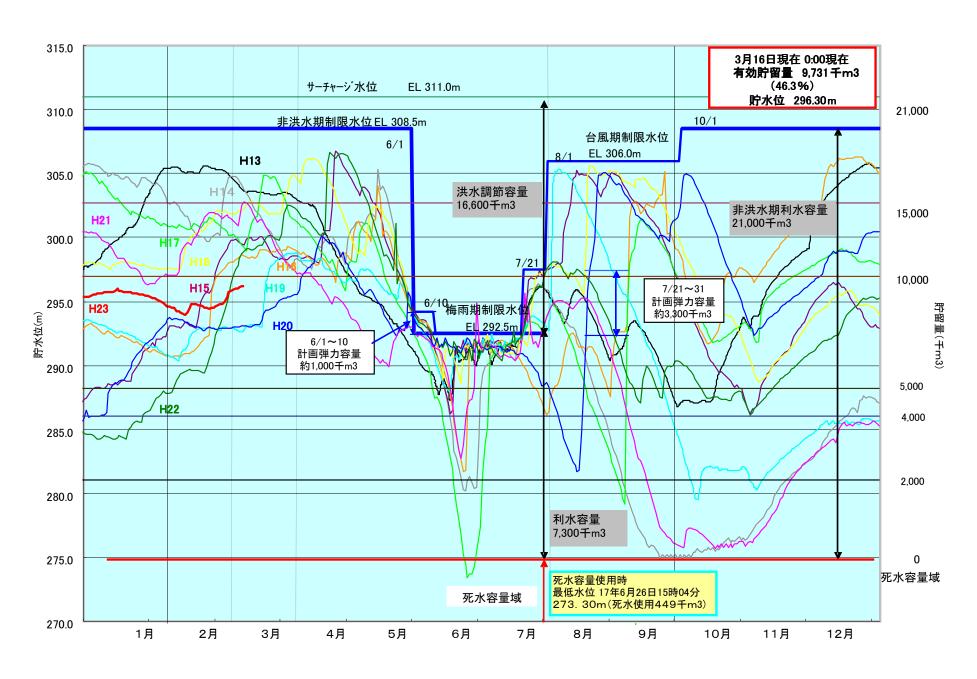
【放流前後の河川状況(船小屋地点)】



平成18年10月21日(放流前)

平成18年10月31日(放流中)

日向神ダム貯水池運用図



日向神ダム弾力的管理試験実績

年度	期別	全貯留量(m3)	貯留率	活用放流量(m3)	放流期間
13	前期				
	後期	3,020,000	91.5%		2月7~9日,18~20日
14	前期	1,000,000	100.0%	1,000,000	6月1~9日
	後期	2,240,000	67.9%		12月20~31日
15	前期	1,000,000	100.0%	1,000,000	6月1~8日
	後期	3,292,000	99.8%	3,292,000	10月29日~11月1日,12月12~25日
16	前期	964,000	96.4%	964,000	6月1~9日
	後期		0.0%		中止
17	前期	133,000	13.3%	133,000	6月1日
	後期	857,000	26.0%	857,000	12月16~21日
18	前期	1,000,000	100.0%	1,000,000	6月1~7日
	後期	3,300,000	100.0%	1,590,000	10月25日~11月1日
19	前期	996,000	99.6%	996,000	6月1~6日
	後期	352,000	10.7%	0	放流なし
20	前期	881,000	88.1%	881,000	6月1~7日
	後期		0.0%		中止
21	前期	497,000	49.7%	497,000	6月1~2,4,5日
	後期	801,000	24.3%	801,000	9月22日~10月1日,1月28日~1月31日
22	前期	1,000,000	100.0%	1,000,000	6月1~10日
	後期	3,300,000	100.0%	1,296,000	2月14日~2月28日
計画	前期	1,000,000	100.0%	1,000,000	
	後期	3,300,000	100.0%	3,300,000	

平成21年6月29日~30日 日向神ダム洪水調節効果

● 洪水調節概要

ダム上流部では、累計雨量は410mm(30日9時時点)の降雨があり、29日16時48分ダムへの流入量が洪水量180m3/sを超え、17時29分に流入量350m3/sを超えたため洪水調節を開始した。その後、6月30日2時13分に最大流入量643.75m3/sを記録した。

今回の洪水において、日向神ダムで約263万m3 の洪水を貯留し、ダム下流の河川に流れる水量 を少なくして、河川の負担を軽減した。

なお、6月30日5時56分に洪水は終了し、ダム水位を低下させるため350m3/sの放流を行ったあとは、流入と同量を放流し水位維持を行った。

ダムへの最大流入量 643.75m3/s ダムの最大放流量 350.00m3/s 最大洪水調節量 384.96m3/s 流域平均累計雨量 410mm(30日9時時点) 最多時間雨量 56mm(宮ノ尾雨量局) (30日0時~1時)

● ダム位置図



● ダムの洪水調節状況

